

AC/DC 耐電圧・絶縁・アース導通(GB)

## 安全試験器

GPT-12000 シリーズ

---

ユーザマニュアル追補版

Ver1.06 対応



ISO-9001 CERTIFIED MANUFACTURER

**GW INSTEK**

本書は GPT-12000 ユーザーマニュアルについて通信の実際の動作でのコマンドごとの注意点をまとめてあります。

#### **MANU:INIT**

- ・ STEP が 0 の時にモードエラーが発生します。

#### **MANU:NAME**

- ・ 設定時は最大 10 文字、文字列をダブルクォーテーションで挟みます。
- ・ 使用可能文字: アルファベット、数字、アンダースコアのみ、スペースと記号は不可。

#### **MANU:RTIME**

- ・ 設定は数値とします、数値は秒で指定、応答は秒単位付き数値となります。

#### **MANU:ACW:VOLT、MANU:DCW:VOLT、MANU:IR:VOLT**

- ・ 設定は単位なし電圧値(kV)とします、応答は単位付き電圧値となります。

#### **MANU:GB:CURR**

- ・ 設定は単位なし電流値(A) とします、応答は単位付き電流値となります。

#### **MANU:ACW:CHIS、MANU:ACW:CLOS、MANU:ACW:ARCC、MANU:ACW:REF**

- ・ 設定は単位なしでは mA となり、単位付きは"u"、"m"、"uA"、"mA"が使用可能 ( $\mu$  は英小文字"u"を使う)、応答は単位付きの電流値となります。
- ・ 設定時に上下関係による制限があるために REF=0、ARCC=80、CLOS=0、CHIS=42 を先に指定してから正しい値を設定します。

#### **MANU:ACW:ARCF、MANU:DCW:ARCF**

- ・ 設定は"OFF"、"ON\_CONT"、"ON\_STOP"とします、応答は"ARC OFF"、"ARC ON CONT"、"ARC ON STOP"となります。
- ・ CHIS $\leq$ ARCC では ARC:ON ができません。

#### **MANU:DCW:CHIS、MANU:DCW:CLOS、MANU:DCW:ARCC、MANU:DCW:REF**

- ・ 設定は単位なしでは mA とします、単位付きは"u"、"m"、"uA"、"mA"が使用可能 ( $\mu$  は英小文字"u"を使う)、応答は単位付きの文字列となります。
- ・ 設定時に上下関係による制限があるために REF=0、ARCC=20、CLOS=0、CHIS=11 を先に指定してから正しい値を設定します

#### **MANU:ACW:TTIME、MANU:DCW:TTIME、MANU:IR:TTIME、MANU:GB:TTIME、MANU:CONT:TTIME**

- ・ 設定は"OFF"または数値とします、数値は秒で指定、応答は"TIME OFF"または秒単位付き数値となります。
- ・ 応答の単位"s"の前にスペースが入るので注意が必要。

#### **MANU:ACW:PASS、MANU:DCW:PASS、MANU:IR:PASS、MANU:GB:PASS、MANU:CONT:PASS**

- ・ 設定は"ON"または数値とします、数値は秒で指定、応答は"ON"または秒単位付き数値となります。
- ・ 応答の単位"s"の前にスペースが入るので注意が必要。

#### **MANU:IR:RHIS, MANU:IR:RLOS, MANU:IR:REF**

- ・ 設定は"OFF"または"G"、"M"、"G Ohm"、"M Ohm"の補助単位付き抵抗値とします、応答は"OFF"または"G Ohm"、"M Ohm"の単位付き数値となります。
- ・ 取説では OFF でなく NULL となっているので注意が必要。
- ・ 設定時に上下関係による制限があるために REF=0、RLOS=0、RHIS=OFF を先に指定してから正しい値を設定します。

#### **MANU:IR:MODE**

- ・ 設定は"TIMER"、"STOP\_ON\_FAIL"、"STOP\_ON\_PASS"とします、応答は"TIMER"、"STOP ON FAIL"、"STOP ON PASS"となります。

#### **MANU:GB:RHIS, MANU:GB:RLOS, MANU:GB:REF**

- ・ 設定は単位なしの mΩ の抵抗値または"m Ohm"単位付きの抵抗値とします、応答は"m Ohm"単位付きの抵抗値となります。
- ・ 設定時に上下関係による制限があるために REF=0、RLOS=0、RHIS=650 を先に指定してから正しい値を設定します。

#### **MANU:CONT:RHIS, MANU:CONT:RLOS, MANU:CONT:REF**

- ・ 設定は単位なしの Ω の抵抗値または"Ohm"単位付きの抵抗値とします、応答は"Ohm"単位付きの抵抗値となります。
- ・ 設定時に上下関係による制限があるために REF=0、RLOS=0、RHIS=80 を先に指定してから正しい値を設定します。
- ・ 応答の単位"Ohm"の前にスペースが入るので注意が必要。

#### **MANU:ACW:WAIT, MANU:DCW:WAIT, MANU:IR:WAIT**

- ・ 設定は数値とします、数値は秒で指定、応答は秒単位付き数値となります。
- ・ 応答の単位"s"の前にスペースが入るので注意が必要。

#### **MANU:ACW:RAMP, MANU:DCW:RAMP, MANU:IR:RAMP**

- ・ 設定は数値とします、数値は秒で指定、応答は秒単位付き数値となります。
- ・ 応答の単位"s"の前にスペースが入るので注意が必要。

#### **MANU:GB:CONTACT**

- ・ 設定は数値とします、数値は秒で指定、応答は秒単位付き数値となります。
- ・ 応答の単位"s"の前にスペースが入るので注意が必要。

#### **SWEEP:DATA:SHOW**

- ・ パラメータが 0 の場合の応答は CRLF で区切られた可変長の複数行となるため、先に SWEEP:DATA:STAT?でデータ数:行数を確認してください。
- ・ 要求時にパラメータに?が付きません。

#### **AUTO:EDIT:SHOW**

- ・ 応答は CRLF で区切られた 13 行の文字列となります。

#### **SYST:ANAL**

- ・ 応答は CRLF で区切られた 6 行の文字列となります。
- ・ 要求時にパラメータに?が付きません。

#### **SYST:STAT**

- ・ 応答は CRLF で区切られた 9 行の文字列となります。